

ふだんの
くらしの
しあわせ



永平寺町社会福祉協議会だより

編集発行 / 社会福祉法人永平寺町社会福祉協議会

Vol.26

2011 May



What's ほっこり？

～住み慣れた地域で生きるために～

今年4月、山鹿区にオープンした小規模多機能型居宅介護事業所「ほっこり」。
小規模多機能型居宅介護ってなに？
今までの介護施設とどう違うの？

永平寺町初の小規模多機能型居宅介護事業所をご紹介します。

小規模多機能型居宅介護事業所とは

小規模多機能型居宅介護とは、介護が必要となった高齢者（主に認知症高齢者）が、今までの人間関係や生活環境をできるだけ維持できるよう、「通い」を中心に「訪問」「泊まり」の3つのサービス形態が一体となり、24時間切れ間なくサービスを提供できるのがその大きな特徴です。

「ほっこり」ができるまで

今回オープンした、小規模多機能型居宅介護施設は、もともと山鹿区の普通の民家を、高齢者の方が過ごしやすいようにリフォームしたものです。家屋は無料提供、土地は無償貸与という竹澤 浄様（鳴鹿山鹿）の善意により、「ほっこり」の歩みが始まりました。

また、「ほっこり」という名称の名付け親である東 節子様も山鹿区にお住いの方です。ちなみに「ほっこり」という言葉を辞書で引くと、「ほっとする、癒される、落ち着く」という意味があるそうです。まさにその地域に愛される、名前の通り温かみのある「地域の拠点」を目指していきます。

小規模多機能型居宅介護事業所の特徴

「ほっこり」はもともと普通の民家を改装しているため、これまでの介護施設とは違い、まるでご自宅にいるときのような雰囲気です。過ごすことができるという特徴を持っています。食事を介護職員といっしょに作ったり、敷地内のミニ菜園で野菜を育てたりいただくこともできます。現在ではご近所の住民の方が立ち寄り、小学生が放課後に遊びに来たりと、地域の交流の場としての機能も併せ持っています。



地元のお子様も「ほっこり」の常連さん



家屋と土地をご提供いただいた、竹澤浄様へ当会永善会長より感謝状が贈られた

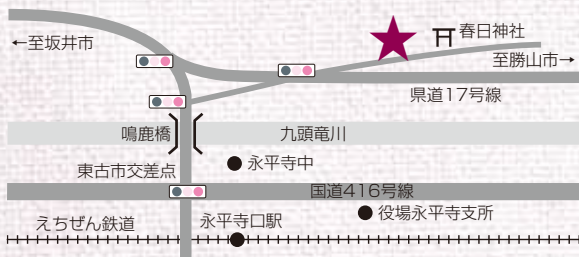




サービス利用料金

要介護度別	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
サービス利用 自己負担額 (1割負担)	4,469円	7,995円	11,430円	16,325円	23,286円	25,597円	28,120円
食事代	朝食350円・昼食500円・夕食500円						
宿泊に要する 費用	1泊につき2,000円						

サービス利用料金は、月ごとの包括料金。自己負担額はサービス利用料金の1割（赤色部分）



ほっこり INFORMATION

小規模多機能型居宅介護事業所 ほっこり
吉田郡永平寺町鳴鹿山鹿22-39
電話 0776-63-2233 管理者 小林 政広

教えて! ほっこりのこと

Q1. 定員は何名までなの?

登録定員は25名様まで、通いサービスは1日15名様、宿泊は1日9名様までとなります。

Q2. 介護保険給付の対象となるサービスは?

基本的な「通いサービス」、ご自宅への「訪問サービス」、ほっこりでの「宿泊サービス」にかかる内容は保険給付の対象となります。ただし、以下のサービスは利用者様の全額負担となります。

- ①食事代 朝食350円・昼食500円・夕食500円
- ②宿泊に要する費用 1泊につき2,000円
- ③おむつ代および尿とりパット代

その他、レクリエーション等の材料費はご負担いただきます。

Q3. まだ要介護・要支援と認定されていないけど、利用できる?

サービスを要介護認定以前に利用することは可能です。ただし、サービス利用料金の全額を一旦お支払いいただく必要があります。要介護認定後、自己負担額を除く金額が介護保険から払い戻されます。ただし、自立と判定された場合には、全額自己負担となります。

Q4. ほかの介護保険サービスは利用できる?

福祉系の介護保険サービスは利用できません。ただし、医療系の介護保険サービスは利用可能です。

当会の平成23年度当初予算が、3月の理事会および評議員会で議決されました。
今年度は、小規模多機能型居宅介護事業所の開設をはじめ、在宅サービスの充実、また小地域福祉活動の発展を中心に事業展開を図ります。

収入の部

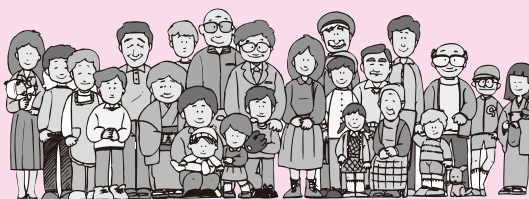
5億8,086万円

会費	306万2千円
介護保険	4億470万1千円
町補助金	4,622万8千円
県助成金	653万円
受託金	6,809万2千円
寄付金	171万6千円
事業	631万8千円
共同募金配分金	328万7千円
負担金	519万4千円
経理区分間繰入金	1,070万5千円
その他	1,287万4千円
前年度繰り越し金	1,215万3千円

支出の部

5億8,086万円

人件費	3億9,523万5千円
事務費	3,255万1千円
事業費	1億2,404万円
助成金	769万8千円
経理区分間繰入金	1,070万5千円
その他	1,063万1千円



永平寺町社会福祉協議会の使命

当会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進することを使命とする。

使命を達成するための4つの理念

- ① 住民参加・協働による福祉社会の実現
- ② 地域における利用者本位の福祉サービスの実現
- ③ 地域に根ざした総合的な支援の実現
- ④ 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない挑戦

平成23年度の重点課題

■ 在宅福祉サービスの充実

「いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる福祉社会」の実現に向け、在宅生活を脅かす生活課題を克服するためのサービス提供の充実を図る。

■ 効果的で効率的な自立した経営

永続的に安定したサービス供給および活動展開ができる組織への強化

■ 「高参加高福祉」型社会の実現に向けての取り組み

地域住民一人ひとりが何らかの役割をもち、お互いが助け合い、支えあう地域社会づくり

永平寺町社会福祉協議会 平成23年度当初予算・事業計画

社協のたゆみない挑戦はまだ続く！

社協の原動力は
「住民ニーズ」

平成23年度の 社協のたゆみない挑戦!

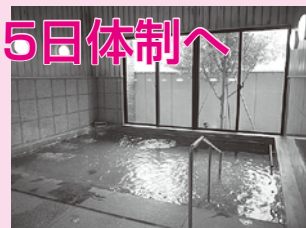
01 小規模多機能型居宅介護事業所を開設

4月、山鹿区に、町内初となる小規模多機能型居宅介護事業所（ほっこり）が開設された。高齢者の方々がいつまでも住み慣れた地域で可能な限り生活ができることを支援。「通い」を中心に、ご利用者様の状態や希望、ご家族の実情に応じ、「訪問」や「泊まり」を組み合わせサービスを提供する多機能型施設です。



02 デイサービスセンター・訪問入浴介護365日体制へ

ご家族の介護負担軽減と継続的な在宅生活の支援を目的として、デイサービスセンターは365日営業への移行を進めます。また、ご自宅に特殊浴槽を持ち込み、入浴サービスを提供する訪問入浴介護サービスも365日体制とします。



03 高齢者・障害者日常生活自立支援センターの設置

福祉サービスの利用や日常生活の金銭管理などが困難な高齢者（認知症高齢者等）や障がいをお持ちの方に、自立した生活が送れるよう、●福祉サービスの利用援助 ●日常的金銭管理サービス ●書類等の預かりサービスなどの提供をします。

04 子育て相談所の開設

核家族化、少子化が進行する中、子育てに対する身体的・心理的負担が増大している現状をふまえ、地域全体で子育てを支援することを目的に子育て相談所を開設。相談は専門のカウンセラーが対応します。（8ページ参照）



05 人工透析患者の通院費用の助成

生活困窮者福祉サービス利用料支援事業の一環で、人口透析療法を受けておられるじん臓機能障害をお持ちの方の経済的負担の軽減のため、通院にかかる費用の助成をおこなう。



06 福祉車両の無料貸し出し

障がい者の社会参加・外出意欲の促進および在宅介護を支援するため、福祉車両を無料（有料道路・ガソリン代は除く）で貸し出す。

07 福祉用具貸与事業所を開設

心身の機能が低下し、日常生活を営むのに支障がある要支援・要介護者の方の自立を支援し、また、家族の介護負担の軽減を図ることを目的として福祉用具の貸出しを行う。

Remember TOHOKU

現地社協の今（陸前高田市）

平成23年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災は、東日本の沿岸部を中心に甚大な被害をもたらしました。

福井県社協と県内の市町社協は、全国の社協による広域ネットワークのもと、3月19日から岩手県陸前高田市（社協）での支援業務に取り組んでいます。（本会からは5名の職員の派遣）



陸前高田市社協では、会長、事務局長、次長を含む複数の職員を今回の災害で失っています。このような状況の中、残された職員が必死に社協組織の立ち上げをはじめとする様々な復興活動に取り組んでいます。



現地では、地元社協と協働しながら、①社協（法人）機能の回復・立て直し ②緊急小口資金の貸付 ③災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営支援 ④地域の相談・生活支援の体制づくりの業務にあたっています。



陸前高田市の被害状況

- ①死者 1,080人
(4.1現在：災対本部)
- ②行方不明者 1,253人（〃）
- ③家屋倒壊数 3,600棟（〃）
- ④市内避難所数 81か所（〃）
- ⑤市内避難者数 13,474人（〃）
※公的施設以外にも福祉施設、個人宅など多岐にわたる。
- ⑥概況
岩手県内の被害のうち、約3割がこの地域に集中。現在の市役所仮庁舎はプレハブ建て。



市役所仮庁舎



発災後の社協

合言葉は、『つないで陸高！！なじぶにがすっぺ』

陸前高田（陸高）の復興に向けて、人や願いや希望をつないで、何とかしよう＝「なじぶにがすっぺ」という思いが込められています。ステッカーの中に描かれた1本の松の木は、日本の渚百選に選ばれた「高田松原」の松の木です。ここには、約7万本もの松の木がありましたが、このたった1本の松の木を除いては、すべて津波により流されてしまいました。この木は現在、「希望の一本松」として、復興へのシンボルとなっています。

「東日本大震災義援金」のご報告

永平寺町社会福祉協議会では、今回の震災にともなう災害義援金を支所受付・街頭募金にて募集しています。

合計**3,090,889円**（3/14～5/9時点）もの義援金を現地に送ることができました。この場をお借りしてご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

永平寺町共同募金委員会では、9/30まで義援金の受付を行っております。社協各窓口でも受付をしておりますので、引き続き皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

永平寺を元気にする

赤い羽根共同募金助成申請のご案内

永平寺町共同募金委員会では、永平寺町内で地域福祉推進のための活動を行っている団体・グループ（但し、構成員5人以上かつ活動実績1年以上）の事業、および児童遊具の新設または修繕費（撤去は対象外）を対象として共同募金配分金助成対象事業の公募を行います。

申請期限 平成23年5月31日（火）まで〈期限厳守〉
（申請書は永平寺町社協各支所にてお受け取ください。）

対象団体 永平寺町内で福祉を目的として活動する当事者団体・ボランティア団体・市民活動団体（グループ）で、児童遊具については自治会とします。

助成額 事業の助成額は、対象経費の4分の3以内で10万円を限度とします。

※助成対象事業（団体）および助成額は共同募金配分検討委員会にて審査を行い決定します。

お問い合わせは永平寺町社協各支所まで



「災害ボランティアの心得」

今回の東日本大震災。国内史上最大のマグニチュード9.0という未曾有の災害となりました。

同じ日本であるにもかかわらず、連日のニュース映像を目の当たりにすると、まるで現実の事とは思えないと感じた方も少なくないでしょう。

そのような中、熱い思いを胸に「災害ボランティア」として被災地に向かう人々が増えています。ここでは災害ボランティアとしての心得をまとめてみました。



をする
ボランティア
地の災害ボランティ
る。

水の確保、衣服・寝
として防塵マスク、

故による
ための保

o.jp

ください。
災害ボランティア情報

「復興支援活動報告」

永平寺町社協永平寺支所主任
本谷友邦

被災地支援に係る福井県内社協現地支援チームの一員として、5/2～5/9の期間、陸前高田市に派遣されていた本谷主任が、被災地での支援活動を終え帰社しました。
現地の状況および今の心境を聞きました。
(聞き手：本所主事 大久保 健)



大久保：現地入りした第一印象は？

本 谷：報道されているより悲惨な印象を受けた。テレビではわからない海水と泥の混じった匂いが鼻をさした。まるで空襲を受けた後のような景色だった。

大久保：一緒に行かれた支援チームのメンバーの反応は？

本 谷：皆、言葉が出ずに、只々その光景を呆然と見ているしかなかった。

大久保：現地での活動内容は？

本 谷：主に災害ボランティアセンターの運営に携わっていた。また、地域住民の方からのニーズに対し、実際に現場に出向いたうえで調査をしていた。

現場に向かうとき、様変わりしてしまった街を走るため、目的地がわからず辿り着くのに非常に苦労した。

大久保：活動中のエピソードをお願いします。

本 谷：災害ボランティアセンターにいたとき、地元の避難所で提供されたコーヒーが余ったため、私たちの職場にまでまわってきた。久しぶりに飲むコーヒー1杯に、職員からは歓声が起こった。張りつめた状況の中で1杯のコーヒーがとても美味しく感じられた。

もう一つ印象的だったのが、私たちが福井に帰る際、現地の職員が涙を流しながら、「行ってらっしゃい」と

見送ってくれた。「さようなら」ではない。もう一度、必ず陸前高田に来てね、というメッセージに非常に心を打たれた。

大久保：被災地の方から聞いた話で印象深いことは？

本 谷：私がいた災害ボランティアセンターの女性職員の話。彼女はデイサービスセンターの職員で、被災直後に津波の情報を知り、ご利用者様とともに車2台に分かれ乗り込んだ。彼女は先頭の車に乗っており、無事に避難することができた。しかし、後の1台は津波に巻き込まれ助からなかったという。

彼女は、この話を何度も繰り返し話していた。というものの胸の内を誰かに話さないと、自分自身がもたないからだとも話していた。でも彼女は気丈に業務に打ち込んでいた。苦しい気持ちを必死に抑え込んでいたのだろうと思う。

大久保：これからボランティアに向かう人々に一言。

本 谷：皆最初は「現地のために何かをしよう」という気持ちが強い。しかし、決して無理をしないでほしい。現地では緊張する状況が続くと思うが、リフレッシュも必要。無理をして体調を崩すと、かえって迷惑をかけてしまう。

大久保：最後にメッセージがありましたらどうぞ。

本 谷：いかに私たちの日常が幸せであるか、私たちはわずか1週間で帰るが、彼らはまだまだ先の見えないトンネルの中にいる。災害はいつ起こるかわからない。明日は我が身かもしれない。日常を後悔しないように生きていかなければならない。

平成23年度

第1回福祉総合相談所公開セミナー開催のお知らせ

テーマ

高齢者を狙う悪徳商法にご用心

～被害にあわないための心構え、クーリングオフ制度～

最近、こんな手口が増えていきます！

東日本大震災に便乗した点検商法やかたり商法・・・

地上デジタル放送移行にともなう公的機関を装った詐欺など・・・

高齢者の「お金」「健康」「孤独」に対する不安につけこみ、年金・貯蓄などの大切な財産を狙っています。今回のセミナーでは、被害にあわないための心構えをお伝えします。

6月1日(水) 13:30～14:30 永平寺老人福祉センター「永寿苑」

6月2日(木) 11:00～12:00 永平寺町やすらぎの郷

6月3日(金) 13:00～14:00 松岡福祉総合センター「翠荘」

【講 師】 福井県消費者生活センター 相談員

【参加費】 無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

【問合せ】 永平寺町社会福祉協議会 各支所

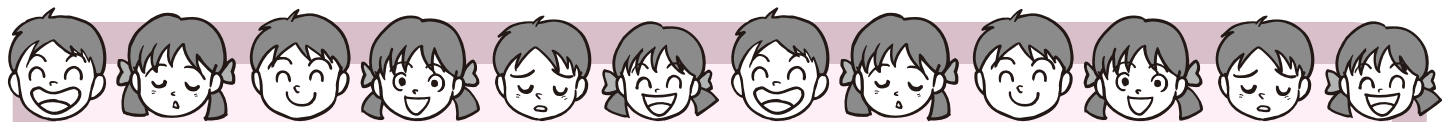
NO!
悪徳商法

「災害ボランティアの心得」

- ・被災地に入る前には的確な情報入手
現地に設置されている災害救援ボランティアセンターに連絡するなどして、現ア受け入れ体制を、十分に確認する。
- ・身の回りの準備を十分にする
被災地での宿泊所の確保、食料・ケガや損害賠償責任を保障する保険への加入する。
- ・ボランティア保険への加入
ボランティア活動中の様々な事故やケガや損害賠償責任を保障する保険への加入する。

ボランティア保険の詳細ホームページ
<http://www.fukushihoken.com>

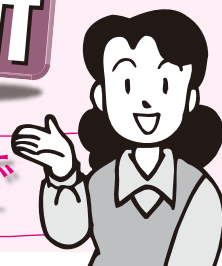
より詳しい内容はホームページをご覧ください
全国社会福祉協議会 被災地支援・災害
<http://www.saigaivc.com>



はじめまして！
こちら社協

子育て相談所

です



お子様のこと、ひとりで抱え込まないで

子育ての悩み、お子様のちょっと気になること…心にためていませんか？

専門家の先生とお話することで、抱えている悩みを少しでも軽減することができたら、お母さま、お父さま、そしてお子様にとっても嬉しいですね。



カウンセラー
富田 純子 氏

福井大学大学院（学校教育専攻）卒
臨床発達心理士・学校心理士・上級教育カウンセラー
保育カウンセラー、乳幼児発達相談相談員、
小学校などのスクールカウンセラー
平成22年より永平寺町の保育カウンセラー

◎事前予約が必要です。

相談日 1 週間前をめどにご予約ください。

お問い合わせ

本 所 64-3000
永平寺支所 63-3868
松岡支所 61-0111

◎相談費用無料

◎1日あたりの相談件数は3件までとさせていただきます。※先着順（1件あたり50分）

時間は各回とも午後 1 時30分から
4 時30分です。

今後の子育て相談 予定日・開催場所

6月13日（月）	永平寺開発センター
7月11日（月）	やすらぎの郷
8月 8日（月）	松岡福祉総合センター
9月12日（月）	永平寺開発センター
10月17日（月）	やすらぎの郷
11月14日（月）	松岡福祉総合センター
12月12日（月）	永平寺開発センター
1月16日（月）	やすらぎの郷
2月13日（月）	松岡福祉総合センター
3月 5日（月）	永平寺開発センター



地域で育てる
目指そう「地育」

心配ごと相談

弁護士による無料法律相談

相談時間 13:00～16:00

- 5月26日（木）松岡福祉総合センター「翠荘」
〈担当弁護士〉神田 芳和 氏
- 6月23日（木）永平寺町やすらぎの郷
〈担当弁護士〉端 将一郎 氏
- 7月28日（木）松岡福祉総合センター「翠荘」
〈担当弁護士〉安部 剛 氏

※事前に電話予約が必要となります。



福祉総合相談

相談時間 13:30～16:00

- 6月 2日（木）松岡福祉総合センター翠荘
- 6月 9日（木）永平寺老人センター永寿苑
- 6月16日（木）永平寺町やすらぎの郷
- 7月 7日（木）松岡福祉総合センター翠荘
- 7月14日（木）永平寺老人センター永寿苑
- 7月21日（木）永平寺町やすらぎの郷

職員の異動

(平成23年4月1日付)

氏 名	新	旧
小 林 政 広	小規模多機能型居宅介護事業所「ほっこり」所長(管理者) 兼 介護支援専門員	松岡支所主幹
前 田 直 美	まつおか居宅介護支援事業所 主任 介護支援専門員	永平寺デイサービスセンター 主任看護師
本 谷 友 邦	永平寺支所主任	永平寺支所主任 地域福祉活動コーディネーター(永平寺地区)
岩 佐 孝 枝	えいへいじ居宅介護支援事業所 主任 管理者	まつおか居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員
伊 藤 和 子	松岡支所主任	えいへいじ居宅介護支援事業所 主任管理者
竹 澤 香	小規模多機能型居宅介護事業所「ほっこり」主任 介護支援専門員	えいへいじ居宅介護支援事業所 介護支援専門員
白 崎 恭 久	松岡支所主任地域福祉活動専門員 兼 地域福祉活動コーディネーター(松岡地区)	地域福祉活動専門員 兼 地域福祉活動コーディネーター(松岡地区)
黒 濟 由加里	上志比デイサービスセンター看護師	松岡デイサービスセンター看護師
反 保 匡 仙	松岡デイサービスセンター介護員	地域福祉活動コーディネーター(上志比地区)
清 水 紀 子	えいへいじ居宅介護支援事業所介護支援 専門員	永平寺町在宅介護支援センター相談員
中 島 康 春	地域福祉活動コーディネーター(上志比地区)	永平寺デイサービスセンター介護員
鈴 木 多津子	永平寺デイサービスセンター介護員	上志比デイサービスセンター介護員
吉 田 豊 美	小規模多機能型居宅介護事業所「ほっこり」介護員	永平寺デイサービスセンター介護員 兼 生活相談員
黒 田 耕 平	永平寺デイサービスセンター介護員	永平寺町ボランティアセンター ボランティアコーディネーター
木 下 大	上志比デイサービスセンター介護員	松岡デイサービスセンター介護員
畠 山 昌 之	小規模多機能型居宅介護事業所「ほっこり」看護師 兼 介護員	上志比デイサービスセンター看護師
嶋 川 真 悠	地域福祉活動コーディネーター(永平寺地区)	本所主事
傳 坂 愛	小規模多機能型居宅介護事業所「ほっこり」介護員	上志比デイサービスセンター介護員
南 部 恵 子	松岡デイサービスセンター介護員	新採用
猪 島 昌 恭	松岡デイサービスセンター介護員	新採用
江 守 正 直	上志比デイサービスセンター介護員	新採用
前 川 和 美	永平寺デイサービスセンター看護師	新採用
大久保 健	本所主事	新採用
野 村 和 男	本所主事	新採用
渡 辺 裕 輔	永平寺町ボランティアセンター ボランティアコーディネーター	新採用
小 澤 毅 浩	松岡支所主事	新採用
吉 田 栄 子	上志比支所主事	新採用
坪 田 恵利子	永平寺町在宅介護支援センター相談員	新採用

気持ちのよい排泄のお世話

介護に関する研修会のお知らせ

しものお世話・・・

する側もされる側も、心身ともに決して楽なことではありませんよね。

オムツの種類や上手なあて方など、さりげなく、すばやく行えるコツを学びませんか？

■開催日 平成23年6月2日(木)

■時 間 13:30～15:30

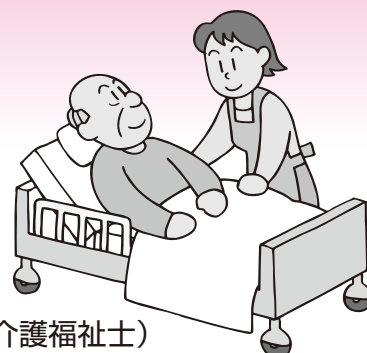
■場 所 やすらぎの郷

■参加費 無料

■講 師 福井県介護実習普及センター(介護福祉士)

介護されている方だけではなく、関心のある方等どなたでもご参加ください。

※事前申し込みが必要です。社協各支所までお申込みください。



福祉サービスの苦情解決をお手伝い

事業所に直接話しにくかったり、事業所との話し合いで解決できなかった場合などお気軽にご相談ください。秘密は必ず守ります（匿名でもかまいません）。



福祉サービスについて
いやな思いや、ケガをした
サービス内容に不安がある
職員の対応が悪い など

相談時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
(祝日・年末年始は除きます。)

電話 0776-24-2347 / Fax 0776-24-8942

e-mail siawase@f-shakyo.or.jp

福井県運営適正化委員会

〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22

福井県社会福祉センター1階

成年後見制度をご存知ですか？

「永平寺グループ後見」のご紹介

永平寺町で、高齢者や知的障害者の暮らしの安全、安心をつくる市民後見人グループです。その主な任務は、高齢者や知的障害者の財産管理・身上監護です。

グループメンバーは、東京大学が実施する「市民後見人養成講座」を履修した6人です。



**お気軽に
ご相談ください。**

代表 小畑 喜代治さん

電話：0776-61-0341

携帯：090-3763-0341

平成22年度 中央共同募金会および福井県共同募金会より感謝状授与

大本山永平寺の雲水の皆様が、一昨年と昨年において、多額の浄財(托鉢による)を福井県共同募金会永平寺町共同募金委員会に寄付いただいたことに対し、中央共同募金会会長感謝状および県共同募金会会長感謝状が、大本山永平寺に贈られました。



福井県共同募金会会長感謝状が贈られました

永平寺町明るい社会づくり推進協議会
会長 元治 義則 様

永平寺町民生委員児童委員協議会
会長 田中 眞佐子 様

寄付御礼

次の皆様から、社会福祉のためにたくさんの「まごころ」が寄せられました。深くお礼申し上げます。皆様からいただいた寄付金・寄贈品は、寄付されました方の希望される使途を尊重させていただきますとともに、社会福祉のため有効に活用させていただきます。

平成23年3月1日～4月30日

	受領日	氏 名	(住 所)	金額(品名)	受入区分
寄 付 金	3月 3日	上志比地区壮年集団連絡協議会 様 女性連絡協議会上志比地区 様		¥22,793	広報啓発事業
	3月16日	毛利 敏一 様	大月	¥970	福祉サービス利用負担軽減事業
	3月24日	伊藤 幹夫 様	東古市	¥50,000	福祉サービス利用負担軽減事業
	3月25日	松岡地区仏教会 様		¥30,000	松岡地区地域福祉活動事業
	3月25日	毛利 敏一 様	大月	¥970	福祉サービス利用負担軽減事業
	3月26日	奥山 雄司 様	花谷	¥2,767	歳末配分金事業
	3月26日	吉田 謙治 様	鳴鹿山鹿	¥10,000	小規模多機能型居宅介護事業
	3月26日	社会福祉法人 太陽会 様	松岡棚	¥10,000	小規模多機能型居宅介護事業
	4月 4日	江守 よねこ 様	松岡葵	¥5,000	福祉サービス利用負担軽減事業
	4月 7日	匿名 様	匿住所	¥100,000	上志比地区地域福祉活動事業
	4月12日	長谷川 三女子 様	轟	¥30,000	福祉サービス利用負担軽減事業
	4月18日	匿名 様	匿住所	¥100,000	物品貸出事業
物 品	3月28日	匿名 様	匿住所	クヨン、タム、ぬいぐるみ	永平寺デイサービスセンター事業
	3月31日	島田 信夫 様	松岡渡新田	車椅子	永平寺デイサービスセンター事業
	4月 1日	匿名 様	匿住所	タオル	永平寺支所運営事業
	4月18日	匿名 様	匿住所	米びつ	小規模多機能型居宅介護事業

苦情受付状況

平成23年1月～3月

永平寺町社協では、サービスの質の向上のために、当会が実施する事業についてのご利用者様はじめ町民の方々からの苦情(ご意見)を真摯に受けとめ改善策を施しています。
平成23年1月～3月における苦情受付状況は下記のとおりです。

苦情の種類	内 容	改 善 策
デイサービスセンター ご利用者様のご家族様より	今日カーディガンを着せて送り出したが、帰りには着ていなかった。	ご利用者様のご来所時の衣類および所持品を、所持品チェックリストに記録し、紛失やお持ち帰り忘れの防止に努める。
ほっこりご利用者様のご家族様より	入浴を希望していたが、入れてくれなかった。	入浴希望日の変更が職員間に十分伝わっていなかったことが原因。今後は日にち変更の際は書面にて随時確認をしていくとともに職員間の連絡を徹底させる。

ほほえみあふれる 福祉のまちづくり

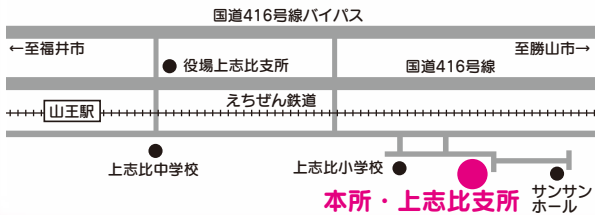
永平寺町社会福祉協議会

本所・上志比支所

〒910-1313

永平寺町石上27-27(永平寺町やすらぎの郷内)

☎ 64-3000 FAX 64-3103



●上志比デイサービスセンター

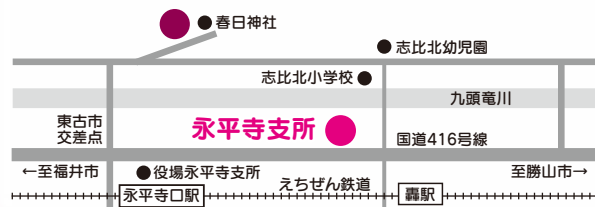
●かみしひ居宅介護支援事業所 ☎ 64-3337
FAX 64-3103

永平寺支所

〒910-1217

永平寺町飯島6-34(永平寺老人福祉センター内)

☎ 63-3868 FAX 63-3869



●永平寺老人福祉センター

●永平寺デイサービスセンター

●えいへいじ訪問介護ステーション

●えいへいじ訪問入浴介護事業所

●えいへいじ居宅介護支援事業所 ☎ 63-3305 FAX 63-3515

永平寺町鳴鹿山鹿第22-39

●小規模多機能型居宅介護事業所 ほっこり ☎ 63-2233

松岡支所

〒910-1127

永平寺町松岡吉野堺15-44(松岡福祉総合センター内)

☎ 61-0111 FAX 61-1797



●永平寺町ボランティアセンター

●永平寺町在宅介護支援センター ☎ 61-4300

〒910-1127 永平寺町松岡吉野堺 15-47

●松岡デイサービスセンター ☎ 61-4575 FAX 61-4576

●まつおか居宅介護支援事業所 ☎ 61-3352 FAX 61-4576

お詫びと訂正

前号「ほほえみvol.25」P2およびP3に誤りがございました。

P2中村伸一氏プロフィール9行目～の開発にも「携わっている」に、P3赤い羽根共同募金記事「せせらぎ区有志 様」と訂正いたします。深くお詫び申し上げます。

編集後記

警察庁は5月13日、東日本大震災の死者が1万5千人を超え、1万5019人になったと発表しました。行方不明者は906人で、死者と不明者の合計は2万4525人。多くの尊い命を奪った震災。その中には、いったん生徒とともに高台に避難しながら残された生徒を迎えに海の方へ向かい、津波に流された新婚だった未だ不明の岩手県高田高校教諭や壊滅的被害を受けた宮城県南三陸町で震災当日、津波が迫る中、防災無線で住民に避難を呼び掛けたまま死亡した同町危機管理課職員も含まれ、これらの報道を目にする、と、深い悲しみとともに、やり場のない憤りすら覚えます。

これらの数多くの不慮の死を思うと、この言葉を思い出します。

「今日という日…」

あなたが

くだらないと

思っている今日は

昨日亡くなった人が

なんとかして

生きたかった

なんとしてでも

生きたかった

今日なんです

今日は

そんな日なんです

ー 趙 昌仁 ー

また、シンガーソングライターの松山千春さんが

ラジオで、

「知恵がある奴は知恵を出さず。力がある奴は力を出さず。金がある奴は金を出さず。『自分は何にも出せない』っていう奴は元気出せよ。」

と今回の震災の復興についてコメントしたそうです。

生かされている私たちは、精一杯、命を輝かせることこそが、お亡くなりになられた方々の弔いとなること

ともに、復興への近道となるのかもしれないね。

光 Y U J I

ほほえみ みいつけた

味のある色彩 『水切り絵』



手でちぎった後、ピンセットで一つひとつ丁寧に貼りつけていく



絵具を使っていないとは思えない味わい深い色だ



松岡春日にお住いの中村和子さん。最近ハマっているのが、新聞紙を利用した「水切り絵」。新聞紙のカラー写真を水に浸した筆で湿らせ、切り絵のように手でちぎります。それを一つひとつ丁寧に貼っていくと、とても深みある作品に！普段あまりじっくり見ない新聞紙のカラー写真も、ちぎることによって新聞紙特有の味のある色彩を放つことを発見。中村さんのお部屋には、毎日の新聞がストックされており、作品によってその中から素材を選びだすそうです。

夢中になるときは、1日6～7時間も机に向かうことも！今は何を題材に水切り絵を作っているのかな？楽しみです！

PHOTO NEWS

「ほほえみ」に載っているあなたの写真を差し上げます。お問い合わせ 永平寺町社会福祉協議会 ☎0776-64-3000

チャリティー・コンサート 2011

本コンサートで得られたすべての収益は東日本の復興支援のために使わせていただきます。

東日本大震災復興チャリティーライブ in 永平寺

午前の部 10:00開演

地元スターによる夢の共演

午後の部 (有料) 14:00開演

バラードシンガー

沢田知可子 スペシャルコンサート

チケット
絶賛発売中!!

代表曲「会いたい」をはじめ、力強くも優しい沢田知可子さんの歌声が永平寺町に響き渡ります!!



平成23年

2011.7.3 日

会場 上志比文化会館サンサンホール
吉田郡永平寺町石上29-67-1 ☎0776-64-3170

午前と午後の二部構成になっています

入 場 料	午前の部	午後の部 (有料)
	無 料 [全席自由]	・大 人 2,500円 ・小・中・高校生 1,000円 障がいのある方
	9:30開場 (10:00開演)	13:30開場 (14:00開演) 全席指定

平成23年3月27日(日)に開催を予定しておりました「永平寺町社協合併5周年記念 ほほえみチャリティー音楽祭」は、東日本大震災の発災にともない延期とさせていただきます。あらためて開催目的を東日本の復興支援の契機に繋げることとし、本チャリティーライブとして開催いたします。

沢田知可子プロフィール

- 1987年 「恋人と呼ばせて」でデビュー
- 1990年 「会いたい」が有線放送からブレイクし、130万枚を売る大ヒットに。
- 1991年 紅白歌合戦出場
- 1999年 自殺防止を目的としたミュージカル曲「gift」の音楽を手掛ける。スマトラ沖地震や新潟中越地震などチャリティーライブや復興イベントにも活動の場を広げる。
- 2000年 「会いたい」が「21世紀に残したい泣ける名曲」第1位に輝く
- 2003年 「gift」が生きる力を与えるメッセージングとして評価され、厚生労働大臣賞受賞